

【まちづくりグループ】 穂高東中学校 深澤 美貴

私は、穂高東中学校二年深澤美貴です。まちづくりグループは五人で構成され、総合計画・財政・男女共同参画・議会・消費者行政・協働のまちづくりについて学習してきました。私は、安曇野市のまちづくりをより発展させるために、市の課題である『人口減少』について考えました。

まず、人口減少の要因として二つの事例が挙げられます。

一つ目は、安曇野市はコンビニやスーパー等の商業施設が少ないため、それを求めて都市部に移住してしまう。

二つ目は、女性が都市部に流出してしまい地元で子供が減少してしまう。とこの二つの要因が挙げられます。

そこで、どうしたら人口が増加するかを考えました。まず、若者が住みたい街は、商店が多いものだと考えました。その為に商店街の活性化をはかったらいかがでしょうか。今空き店舗になっているところに若者が好みそうな店を入れたり、地元の高齢者の方々にも親しみやすい、ゆったりとリラックスできる店を設けることが実現できれば、若者の流出をくい止め、人口も減少することがなく、安曇野市内の観光スポットにもなれるのではないかと思います。

そのためにも、自分で何が出来るかを考えないといけません。私達中学生は、これからさきの未来を引き継いで、この安曇野市、そして長野県を守っていかなければなりません。なので、今、自分で出来ることはこの安曇野市で生活して、ボランティアや地域の行事などに積極的に参加したり、自分の地域に少しでも貢献することが、今の私達に出来ることだと考えました。

人口の流出、特に若い世代の流出を食い止め、この安曇野市を発展させていくためにも小さなことからコツコツ取り組んでいくことが大切です。

一人一人が意見を出して、よりよい長野県安曇野市にしましょう。これで私の提言を終わります。

【ご担当部 政策部長】

【まちづくりグループ】 明科中学校 関 穂乃香

私は、明科中学校二年、関穂乃香です。

私は安曇野市の人口減少についてお尋ねいたします。

安曇野市の人口の推移をみると、十五歳から六十四歳までの生産年齢人口が二〇〇〇年以降下がりに続いています。それは、高校卒業後に進学・就職等で市外に人口が流出していることが推察されます。その原因として、大学に進学するため安曇野市を離れ、後に就職先を探します。しかし、安曇野市にはたくさんの人を受け入れられることのできる仕事先がありません。それに比べ、都会には大きな企業が集中しているため、希望する就職先を求め多くの方が都心部へ流出してしまいます。また、都心部の企業と地方の企業では、賃金の差が大きいです。人口の流出を食い止めるためには、都心部にある大きな企業を地方に分散することがいいと思います。また、地方にある小さな企業を発展させ、魅力ある企業にすることが大切だと思います。安曇野市の産業を充実・強化するための方策として、地産地消に取り組んでいきたいです。必要なものは、できる限り安曇野市内のものを使うことを心がけます。

安曇野市の特産品であるわさびやにじますなども市外へ紹介していきたいです。

さらに、安曇野市には空いている土地や建物を市で管理し、そこへ企業を誘致したり、個人の起業家へと安く提供するなど、人口の増加を図ってほしいです。

また、子育てのしやすいまちづくりとして子育て世帯への税金の優遇や学費の負担軽減を行ってほしいです。

安曇野市が魅力あるまちになることが人口の増加に繋がり、活気あるまちになると思います。

【ご担当部 政策部長】

【まちづくりグループ】 豊科南中学校 宮澤 昌子

私は、豊科南中学校二年、宮澤昌子です。

私は第一回で習った安曇野市の人口減少で安曇野市から若い人が出て行ってしまい、店などが減ってきていることが気になりました。

その主な要因は、高校を卒業した若者が進学や卒業などで市外に出て行ってしまい、若い働き手がいなくなり、店が減少していくからだと思います。

そこで、課題を解決するために、市や私たちに何ができるかと考えました。安曇野市の商店街の復興に力を入れて頂けたらと思います。私がよく通る豊科の商店街は、商店が閉まっているところが多くあります。その商店を市外に出て行った若者達が自由に新しい商店を開けるよう商店を貸し出して頂き、また商店街はいつも車が通っていて危ないので一定の時間だけ歩行者天国にするなど、工夫をして多くの人達に来てもらえる商店街にしたいです。

また、安曇野の特産品などを売るイベントなどを開き、イベント情報を広報等で紹介し、人々が人との結びつきを強められるような商店街にし、安曇野市がもっと活気のあふれた街に出てきたらと思います。

そして、中高生の生徒会などで活性化策を話し合う街づくりフォーラムを生徒会で主催し、パネルディスカッションや地域の人に参加できるよりよい街を創るための図案コンクールを支援するための提案などをしたいです。

そして多くの人達が交流を深め、今よりもよりよい安曇野を創っていききたいです。

【ご担当部 政策部】

【まちづくりグループ】明科中学校 佐々木 優衣

私は、明科中学校二年、佐々木優衣です。

私は高齢者の生活についてお尋ねいたします。

高齢者で一人暮らしの人や老夫婦で暮らしている人達が安心して生活することのできるまちづくり、という事に関わって提案致します。ひとつは、冬の雪かきについてです。冬、この安曇野はたくさんの雪が降ります。たくさん雪が降る日は、一日に何度も雪かきをしなければなりません。でも、高齢者にとって重い雪をかくことは重労働です。高齢者の負担を減らすには、周辺に住んでいる人達が協力し、雪かきをする必要があります。

その実現のため私達は、私達の家近くに住んでいる高齢者の家を訪れ、雪かきを手伝い、高齢者の負担を減らしていきたいと思います。こうすることで、高齢者と若者の交流が増え、若者と会話することが高齢者の楽しみとなり、高齢者も若者と楽しく過ごせるようになります。

二つ目は、買い物への支援についてです。市内から離れている所に住んでいる高齢者は市内まで自力で行き、買い物をして帰ってこなければなりません。ですが、これは高齢者にとってかなり大変なことです。そのため、高齢者の交通手段としてあづみんの台数と運行を増やせば、高齢者もより利用しやすくなり、負担を減らすことができます。

このようなことから、高齢者のために安曇野に住む全員が協力し、高齢者を助けながら生活していくことが大切だと思います。

【ご担当部 福祉部】

【まちづくりグループ】 堀金中学校 石塚 紅葉

私は、堀金中学校二年、石塚紅葉です。

私は詐欺被害対策についてお尋ねいたします。詐欺被害が起きている原因として一般市民の詐欺に対する意識がうすいことが挙げられます。

そこで私は詐欺被害対策として、市からの注意や呼びかけだけでなく、詐欺の手口や詐欺被害のことを説明するために講演会をして一般市民の詐欺に対する意識を高めたかどうかと考えます。

さらに私は詐欺被害対策として一番大切なのは家族との会話だと考えます。私は家族との会話から普段のしゃべり口調や声の高さ、大きさを例え電話で話していても「いつもと違うな」と詐欺の手口だったら気づけると考えるためです。そのため私自身も家族との会話、特に祖父母との会話をもっとしていきたいと思います。

また、市は一般市民の詐欺に対する意識を高めるために、高齢者や一人暮らしのお年寄りに対して自宅訪問をし、最近の詐欺の手口を簡単に説明するなどの対策をしていくとよいと思います。私たち自身が普段から詐欺を許さないという意識を持つことが大切です。

詐欺被害のない安曇野市をめざして、市は高齢者を中心とした市民を守ってください。私たち中学生ももっとお年寄りに寄り添っていきたいです。

【ご担当部 市民生活部】